

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和 5 年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	五日市センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日から 令和 10 年 3 月 31 日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	265	130	49.1%	
	延べ利用者数 (人)	2,000	966	48.3%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)	244	124	50.8%
		自主事業 (回)	500	352	70.4%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	15,498,000	7,749,000	50.0%
		利用料金収入(売上) (円)	1,700,000	821,100	48.3%
		自主事業収入 (円)	2,750,000	1,846,150	67.1%
		その他の収入 (円)	0	0	0%
	収入計 (円) …①		19,948,000	10,416,250	52.2%
	支出	人件費 (円)	11,538,000	6,057,348	52.5%
		維持管理経費 (円)	5,660,000	2,767,573	48.9%
		自主事業関係経費 (円)	1,316,000	738,500	56.1%
		その他の支出 (円)	0	0	0%
	支出計 (円) …②		18,514,000	9,563,421	51.7%
	収支 (①-②) (円) …③		1,434,000	852,829	59.5%
諸経費 (本社運営費など) …④		0	0	0%	
総収支 (③-④) (円)		1,434,000	852,829	59.5%	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 開館日数については、計画どおりに開館しています。 必須事業については、地域性や介護保険への移行により計画数と比較し減少傾向ですが、自主事業の利用者数は増加しました。</p>	<p>【事業の実施状況について】 必須事業については、コロナが5類に移行になったため、3センター合同行事、課外活動を実施しました。 自主事業については、新規講座の立ち上げに努めました。人気講座は、振替日を設け実施しました。</p>	<p>【収支状況について】 必須事業については、収支状況が計画数に満たない為、新規利用者の増加に努めます。 自主事業については、利用人数収支も増加しました。 今後も収支状況の改善に努めます。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

所管課の評価 (指摘事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 計画どおりに開館できており、自主事業の利用者増加につながったことは評価できます。 今後も広報活動に力を入れるなど、利用者のさらなる増加に努めてください。</p>	<p>【事業の実施状況について】 コロナ禍で実施ができなかった行事を再開し、人気講座については振替日を設けて実施するなど、状況に応じた事業実施ができています。引き続き、利用者のニーズに応えた事業展開に取り組んでください。</p>	<p>【収支状況について】 必須事業については、介護予防の取組が必要な高齢者の把握に努めてください。 自主事業については、利用人数や収支ともに増加しているため、引き続き、経費の節減、さらなる利用者の増加に努めてください。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負っていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人 人員配置計画、実地、出勤簿	5人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年 研修マニュアル	実施回数 6回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	100% 人員配置計画	100% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>必須事業については、計画数と比較し、利用人数が減少傾向にあります。登録人数は平均30人前後で推移しています。コロナが5類に移行したため、げんき応援祭、課外活動、買い物、お茶会、ボランティアによるおやつ作りなど、コロナ禍で実施を見送っていた活動を取り入れました。</p> <p>自主事業については、新規講座、フェイシャルマッサージ、つまみ細工教室を開講しました。利用者同士の口コミで、満員となりました。スマホ教室、健康麻雀は大人気で、皆さんでおしゃべりしながら昼食を取り、センターでの活動を楽しまれています。介護予防、認知症予防の脳トレ教室では、音読、体操、レクリエーションを取り入れて欲しいというニーズに応え、顧客満足度を上げるよう努めました。</p> <p>今後も地域の福祉拠点として、利用者の声に寄り添い、事業を展開していきたいと考えています。</p>
所管課による所見（指摘事項など）
<p>必須事業は減少傾向にありますが、センターでの活動を広く市民に周知し、介護予防が必要な方へのアプローチを続けることが重要です。自主事業においては、利用者からのニーズに応えるため、新規講座の立ち上げに尽力できたことが評価できます。新規講座にもかかわらず満員となっていることは、高齢者のニーズの把握が適切に行われている結果だと考えられます。引き続き、利用者の声に耳を傾け、地域の福祉拠点として利用者のニーズに沿った事業展開を心がけてください。</p>